



ほたる舞う学び舎

令和3年度 5月号

学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い 命・人権・平和を大切に
ち 力いっぱいがんばり
の 伸び伸びと
た 楽しく活動
に ニコニコ笑顔の絶えない
「いちのたに」の子

グローバル教育の推進で 心と視野は世界へ

校長 池戸 龍一

新年度がスタートしてもう少しで1か月、元気いっぱいの子供たちが進級した喜びと決意も新たに勉強に運動に生き生きと活動する姿は、青空のもと、新緑が美しい若葉、全ての生命が躍動する春の姿と重なります。一方で、新型コロナウイルスは収束には至らず、東京にも3度目の緊急事態宣言が発令され、今はただ一日も早い日常が戻ってくることを強く願うばかりです。

学校もコロナ禍を視野に入れた教育活動を今年度の計画として立てましたが、新たな課題に再検討せざるを得ない状況です。しかし、こんな時だからこそ、学校は子供たちにとって、伸び伸びと安心して学べる場でありたいと思います。残念ながら、先週予定されていた学校公開は中止としましたが、セーフティ教室は子供たちの安全を守るという観点から、より感染予防対策を強化した上で実施いたしました。予定では、日頃から子供たちの登下校を見守っていただいている「一の谷小見守り隊」の皆様にお越しいただき、全校児童に紹介したかったのですが、今回は代表して中心者である福本俊夫様とスクールガードリーダーの小林兼良様のみお越しいただきました。しかし当日は、見守り隊の全員のマスクを取った顔や活動の様子を写真に撮って体育館の大スクリーンで紹介してくださり、子供たちあちらこちらから「あ、〇〇さんだ。」と喜びの声が挙がっていました。子供たちも感謝のお手紙を書き、代表児童が読んだ後、福本様にお渡しました。(詳細や様子を写した写真が本校HPに掲載されていますのでご覧ください。)



さて、待ちに待った東京オリンピックも昨年延期となり、この夏も実施が心配される中ですが、オリンピックは子供たちにとって大きな学びの場であり、このチャンスを逃すわけにはいきません。今年度は、GIGA スクールスタートの年でもあり、外に出るのが難しいなら、インターネット等を使って一気に世界に出ていきたいと思い、本校の特性である地域や日本の伝統文化を学べる地域の教育力(ローカル教育)に加え、世界に目を向けたグローバル教育にも取り組む名付けて「グローバル教育」を推進してまいります。

本日、全校朝会で「ウルトラマンや怪獣は本当にいるのかな?」という話から、今年度取り組むSDGs(国連で採択された持続可能な開発目標)について紹介しました。まずは、皆が目にする昇降口にオリパラ掲示板を設置し、5月21日には、オリパラ教室を予定しています。今回は、日本ガラパゴス協会事務局長である奥野玉紀氏をお迎えし、ダーウィンが「種の起源」に表した進化論で有名なガラパゴス諸島を通し、低中高の3部に分けて世界やSDGsについて学んでいきます。そして、この一の谷小から未来を担うヒーローやヒロインたちがたくさん育っていくことを期待しています。

